

1年生進路学習「働くことを考えるシンポジウム」開催

2月12日に、1年生の進路学習として「働くことを考えるシンポジウム」を開催しました。働くことの意義等について、社会で働いている方の思いや考えを聞き、実際に交流する機会を持つことで、自らの将来について理想をもち、その実現に向けて意欲をもつことを目指



シンポジウム「人は何のために働くのだろうか？」

した取組です。当日は以下の内容で会を進めました。司会進行やゲストへのお茶出しも1年生の実行委員が行ってくれ、心強い限りでした。

【内容】前半：シンポジウム「人は何のために働くのだろうか？」
後半：ワークショップ「働く方々に聞いてみよう」

【ゲスト】川底正剛 様（九州旅客鉄道株式会社 熊本駅長）
西東大 様（日本放送協会福岡放送局 コンテンツセンター九州・沖縄統括アナウンサー）

坂口裕一郎 様（熊本銀行健軍支店 副支店長）
竹田浩一 様（ムーンムーン株式会社 代表取締役）
檜原哲史 様（熊本大学病院消化器内科／がんゲノムセンター 特任助教）

光山華央留 様（熊本整形外科病院 循環器内科医）

ゲストのうち3人の方は、1年生の保護者。また、ゲストへの呼びかけには、1年生学年幹事さんの協力をいただくなど、保護者の

多大なご協力をいただいています。

シンポジウムでは、ゲスト全員が自分の仕事について、やりがいや難しさなどを語っていただきました。最後には、「人は何のために働くのだろうか」という根源的な問いに、お一人ずつ答えていただきました。私自身も、うなずきながら聞き入ったところです。

各クラスに別れてのワークショップでは、遠慮しながらも、生徒から様々な質問が出され、ゲストの皆さんが丁寧に答えてくださいました。各分野で活躍されている皆さんの熱いメッセージは、しっかりと1年生に響いたはず。この機会に、ご家庭で保護者の皆さんの勤労観を語る、家庭版「働くことを考える」会をやってみてはいかがでしょうか。子どもたちは、しっかり耳を傾けるとおもいます。

1年生は2月20日、21日に社会体験活動です。今回のシンポジウムと社会体験で、1年生諸君の視野が広がることを期待しています。



川底正剛 様



坂口裕一郎 様



檜原哲史 様



西東大 様



竹田浩一 様



光山華央留 様